

学校だより 3月号

平成30年3月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004
FAX 048 (547) 1467
URL <http://koya-e.konosu.ed.jp>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

「小学校は子どもたちの心のふるさと、自分の大きな礎」
～今やっていることが、未来につながっている～

校長 渡辺 勝徳

今年は寒波の影響で、寒い冬となりました。オリンピックをやっていた平昌はテレビでもすごく寒さが伝わってきました。その寒さの中でがんばっている選手はすごかったですね。私は、17日（土）の羽生選手の演技を緊張しながら見ていましたが、無事に演技を終えたときには、けがを乗り越えての演技だったことを考えながら見ていたせいもあって、感動して涙を流してしまいました。オリンピックが終わり、今度はパラリンピックです。さて、先日、伯母のお見舞いに兄弟3人で行ってきました。伯母はもうすぐ90歳になります。久しぶりに会うので、昔が懐かしくなり、その帰りに昔住んでいた家に行こうという話になりました。行ってみると、40年以上経っているので、当時住んでいた家をはじめ、周りの家や道、生えていた木や近所の方々などもすっかり変わってしまっていました。そこで、さらに子どものころによく行ったところに歩いて行ってみようということになり、通っていた小学校にも行きました。その小学校も当時の校舎はすでに建てかえられており、遊具の位置や校庭の様子も変わってしまっていました。そこを歩きながら、弟たちと「昔はここに滑り台があった」とか、「校舎が木造で東西に3つ並んで建っていた」とか、「交通公園が校門を入ったところにあった」などと言いながら、懐かしく、楽しい時間を過ごしました。そんな話をしていたら、どんどん当時のことが思い出されてきました。交差点で毎朝おじさんが交通指導してくれたことや文房具屋のおばさんがサービスしてくれたこと、担任してくださった先生方にお世話になったこと。そして、それらの方々がしてくれたことが、今の自分にどのようにつながっているか、などがその時に改めてわかった気がします。当時生活した小学校は、私にとっての「心のふるさと」「自分の大きな礎」になっているんだなあと思いました。そして、現在、校長となって、今ここにいる子どもたちが大人になった時に、私と同じように感じてくれる小学校を創っていかなくてはと改めて思いました。

今、小谷小学校では子どもたちがいろいろなことをやっています。日々の授業はもちろんですが、朝のマラソン（きらきらタイム）、クラスごとの長縄跳び、百マス計算や漢字の練習、古典的な名文や百人一首の暗唱、家庭学習での自学ノートのページ数の表彰、宿題・・・。まだまだたくさんありますが、どれもこれも子どもたちの成長にとっては意味のあること。あと何十年か経った時に、「ここに〇〇が建っていたんだよね」という話のほかに、「小学生の時にこういうことをやったから今はこうなった」とか、「あの先生（おじさんやおばさん）にこうにしてもらったから今があるんだ」という話をするようになってくれるといいなと思います。今、自分がやっていることは、未来に続いています。それだけに、毎日を大事に、一生懸命に生活したいものです。

ところで、4年生のSさんは、自学ノートを2月までで1400ページやってきました。去年の彼女の達成したページ数は400～500ページでした。だから、これはすごいことです。きっと、4年生になったときに自分の中で「今年は家庭学習をがんばるぞ!」と強い意志を持って決め、実行してきたのでしょう。それにしても毎日、毎日続けることは大変なことだったでしょう。そこで、このように自学ノートが続けてきて、Sさんは、以前とどのように変わったかを聞いてみました。

校長「3年生の時と比べて、自学ノートをたくさんやるようになって変わったなと思うことはどんなことですか？」

Sさん「楽しくなりました。勉強するのが、楽しみにになりました。」

毎日続けることで、楽しくなった。これは続けてやった人でないと、わからない感覚でしょう。私は、この話を聞いた時、中学生のときに体育の授業で聞いた「マラソンなどで、はじめの走り出しは息が苦しいが、途中でセカンドウィンドという状態になると、はじめ感じた苦しさがなくなり、急に楽になる」という話を思い出しました。続けていると、どこかで急に楽になるとか、楽しくなる瞬間があるのですね。だから、そこまで続けないと、わからない感覚なんだと思います。

「継続は力なり」と言います。何か1つのことでいいから続けていく。そして、それが自分の自信になっていく。そうすると、次から次へといろいろなことができるような気がしてくるものです。どんなことでもいいから、自分でこれは続けてきたという自信が持てるものを持ってください。小谷小学校というところが、そんな自信がもてるようになったきっかけの「心のふるさと」「自分の大きな礎」の小学校になれば、最高です。